

からのたより

掲載いたしました。()は旧姓

いです。色々とお世話していただき感謝しています。和気閑谷高校と同窓会の益々の御発展を心よりお祈りしています。

S36卒 栗原 昌子(近藤)

平均年齢73歳の老人5人で蒜山三座を縦走しました。中蒜山あたりで誰かが下山しようと言うのを期待しましたが、誰も言い出さず、約8時間かけて縦走することができました。

S39卒 余田 敦

故郷は次第に遠くなりつつあるものの、TV、雑誌で閑谷学校を見るたびに懐かしく思い出しています。益々の母校の発展をお祈りしています。

S41卒 山本 日出男

卒業後、東京で働き、11年前に帰って来ました。昨年の7月、9月には中学・高校卒の古希同窓会に出席し皆さんとお会いできました。また、お会いできると嬉しいです。

S43卒 藤澤 理八郎

岡山を離れて47年になります。95歳の父と宝塚で同居しており、夫婦での見守りが中心の毎日です。時々、湯郷温泉へ息抜きに出かけています。

S44卒 福田 文夫

昨年6月29日、元閑谷学校資料館長の若松佐々美先生が享年96歳で他界されました。何十年ぶりに和気を訪れ告別式に参列しました。和気駅に降り立ち、懐かしい高校時代に思いを馳せました。今年の創学350年記念の際には、共に学んだ仲間に半世紀ぶりに会ってみたいと思います。(横浜在住)

S46卒 林田 末昭

還暦が来たので仕事を週2回にして、朗読員養成講座と太極拳に通っています。このようなことができるって本当にありがたいことと日々感謝しています。いつも色々なお纏め本当にありがとうございます。

S52卒 西上 祐子(柴原)

閑谷学校が母校であり、350年の歴史が続いていることが、心の中の誇りや支えに感じる年頃になりました。

S54卒 時岡 裕美子(池上)

定年まであと5年を残し、長年勤めた病院を退職しました。今は孫の世話をしながらのんびりと過ごしています。孫育てが楽しみです。

S57卒 三宅 佳子(藤村)

長男・次男は仕事が順調で、長女は専門学校と、それぞれ「一度しかない人生」を合言葉に自分の好きな道を歩んでいます。夫婦二人の生活になっていますが、相変わらず仲良く旅行に出掛けています。和気閑谷高校の益々のご発展をお祈りします。

S60卒 鈴木 恵子(秋久)

S61卒 鈴木 健治

